

巖島神社の大鳥居が修復され、その雄姿を見ようと多くの観光客が島を訪れ、島全体が明るく活気に満ち溢れています。

今年度、16周年を迎える宮島学園。

I C Tの活用をはじめ、時代とともに教育内容や指導の在り方も大きく変わってきましたが、本学園では、小中一貫教育のメリットを生かし、「宮島の財産（歴史・伝統・文化）を人とのつながりの中で学ぶ」ことで、「15の春」を切り拓いていく力を育むことを大切にされた教育をこれまでと変わらず推進しています。

そして、「多様性を受け入れ、安心して過ごすことのできる学校」を目指して、小規模学校の良さを生かし、「異年齢の集団で『憧れ感』や『お役立ち感』を子ども達を感じながら自己存在感や自己有用感を高める」活動を大切にしています。

学校運営協議会では、「宮島に思いを馳せる子」を9年間で育てていこう、と誓いを立てました。

そのためにも、私たち教職員は、保護者・地域の皆様のお力添えのもと、「あるべき姿を継承し、ありたい姿を創造する」「宮島の未来を地域とともに創る」学びを考え、元気な学園生の活動を島のあちこちで見えていただけるよう取り組んでまいります。

「継承と創造」

これまでと同様に皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

令和6年4月1日

宮島学園（廿日市市立宮島小・中学校）

校長 伊豆田 智子

学園HP内の「宮島学園日記」や「学園だより」も併せてご覧ください。

